

「変わらないために、変わり続ける ～人道を貫くために～」

日本赤十字社を取り巻く環境は大きく変化している。しかしながら、本質的な課題は、外部環境変化そのものではない。問われているのは、変化に向き合いながら、将来にわたり変わることのない日本赤十字社の使命を果たし続けなければならないということ。

そのためには、日本赤十字社に関わる一人ひとりが自らの活動を不断に見直していく必要がある。いわば、『変わらないために、変わり続ける』。このことが、創立 150 周年という大きな節目に求められている。

日本赤十字社が将来にわたり変わらず大切に守り続けるべきもの

1. 人道をはじめとする赤十字の基本 7 原則の普遍的価値
2. 日本赤十字社が有する独自の公共性
3. 人道を実践する日本赤十字社の基本姿勢

日本赤十字社が注視すべき外部環境変化

今後の活動を構想するに当たり、①自然環境、②人口構造、③社会、④経済、⑤世界情勢、⑥テクノロジーの 6 つを特に注視すべき。

上記を踏まえて、以下 3 つが重点課題として想定される。

- (1) 人道理念を貫くため、受動的適応ではなく創造的な変化を自ら進め、「変わらないために、変わり続ける」こと
- (2) ニーズの増大・多様化とリソース縮小の同時進行を悲観視せず、誰もが担い手となる社会への転換機会と捉えること
- (3) 赤十字運動に関与する主体の量・質ともに拡大し、「共創する」力を強化すること。
テクノロジーとデータの活用に加え利他性及び相互性の視点を取り入れること

日本赤十字社がこれからも使命を果たし続けるために重視すべき基本的考え方と活動の方向性

以上を踏まえ、日本赤十字社が今後の活動において重視すべき基本的考え方と活動の方向性を 3 つに整理

(1)基本的考え方： いかなる時も、人間の命・健康・尊厳を中心に人道を追求する

⇒ **活動の方向性： 人々と共にぶれることなく人道を追求する**

- ・ 人道の語り直しと、人々の苦しみをデータで可視化することによる社会への問いかけ
- ・ 人道の担い手自身の命・健康・尊厳を守ることと、事業・世代を超えた誇りと知見の継承と深化

(2)基本的考え方： 多くの人々の思いを束ね、人道の力で社会をつなげる

⇒ **活動の方向性： 赤十字運動を公共財に、人々がつながり、支え合う社会をつくる**

- ・ 多様な関係者との共通のゴールの設定とコミュニティにおける持続的な支え合いの拡大
- ・ 地域の課題と国・世界の人道課題の連結と、国内外のネットワークを活かした協働、新たなつながりの拡大

(3)基本的考え方： 理念の実践者たり得ているのかという自らへの問いかけを続ける

⇒ **活動の方向性： 使命に照らし、自ら未来を切り拓く**

- ・ 日本赤十字社が自ら担う役割と、多様な関係者と共に担う役割の明確化と、迅速に行動するための体制・基盤の整備
- ・ 平時のリソースの予防や備えへの活用と、危機対応の知見の日常への還元による、平時と緊急時の実践の循環
- ・ 持続可能な事業を目指した、活動範囲と優先順位の明確化とリソース配分の見直し